

フリーアドレスのご紹介 (審査第三部高分子)

審査第三部高分子 牟田 博一
 審査第三部高分子 前田 直樹

今回、高分子のフリーアドレスについて紹介させていただく機会をいただきましたので、ご紹介いたします。

〈フリーアドレス化までの経緯〉

2021年2月、当室が次年度(10月)からフリーアドレス化することが課内会議で周知され、3月下旬にフリーアドレス化担当が募集されました。結果、筆者の2人が担当することになり、そこから、5月上旬までにレイアウト案や購入希望物品リストなどを調整課に提出する必要があるため、フリーアドレスが先行導入されていた審査室の見学や室内アンケートなどを経て、必要書類を作成しました。

その後は、5月から起案提出場所を管理職席の決裁箱からロッカーに移したり、包袋を薄くすることを折に触れて依頼したりするなど、フリーアドレスにスムーズに移行できるような環境作りに努めました。

〈レイアウト〉

新旧レイアウトは図1のとおりです。

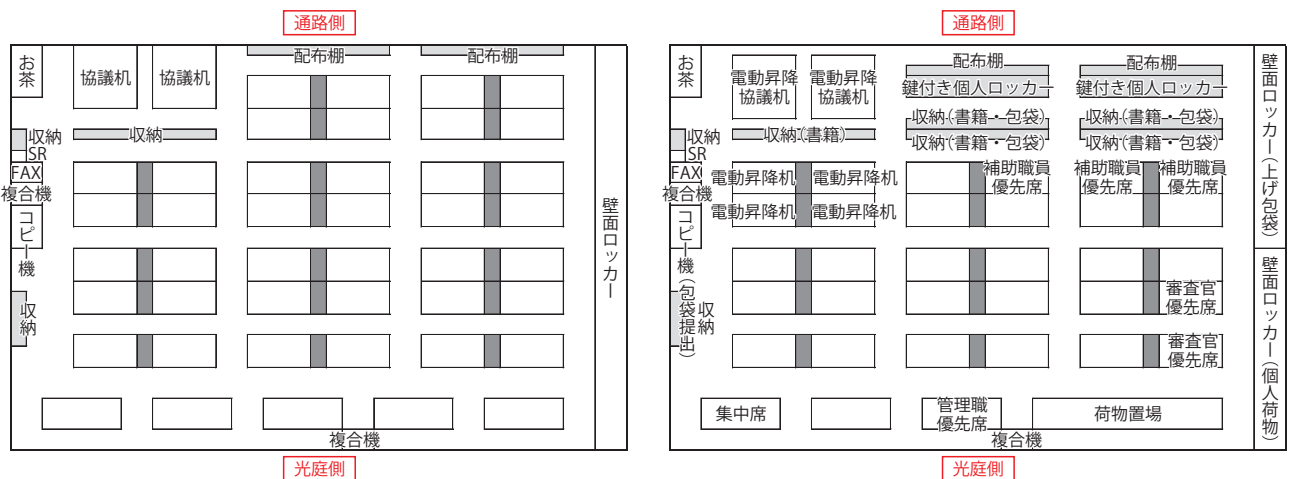
フリーアドレス化にあたり、座席数を2割、占有面積を1割削減しました。また、個々人の座席に保管されていた包袋を壁面ロッカーに移し、代わりに壁面ロッカーに保管されていた大量の書籍類のための収納を新たに用意しました。

一方で、フリーアドレス導入による環境の変化を可能な限り小さくし、スムーズに移行を図るため、レイアウトの変更はできるだけ小さくするよう努めました。

フリーアドレス化後の備品は以下のとおりです。

○通常席

通常席は写真1のとおり、OA脇机(机下に置かれていたキャスター付きの3段の棚)やキャビネット(鍵付きでキャスターのない2段の棚)を撤去しています。キャビネットの代わりにファイルラック



旧レイアウト

新レイアウト

ワゴンを机拡張のために置いています。足下が広くなり、背中側の空間も広がったことで動線が多くなりました。



写真1

また、席付近に積み上がっていた包袋がなくなり、部屋全体がすっきりした印象です(写真2)。この点をフリーアドレスの利点として上げる声が多く聞かれました(後述のアンケート)。



写真2

○電動昇降席

天板を昇降できる机です(写真3)。既存の机と比べて幅が広いことと、小さいながらもパーティションがついていることもあり、人気の高い席です。当室では通路側に置かれていますが、来年1月からのフリーアドレス共通レイアウトでは窓側に置かれる予定と伺っており、立位での気分転換効果がより高くなるのではないのでしょうか。



写真3

○集中席

三方を吸音パーティションで囲った席です(写真4)。手元が少し暗くなるためスタンドライトを置いています。部屋の隅にあることもあって、人通りを気にすることなく業務に集中できます。スペースの都合上1席しか設けることができず、常に埋まっている状況です。電話は設置しておらず、電話によって業務を中断されることがないようにしています。この席に座っている審査官宛に外部から電話があった場合には、後ほど空いている他の席からかけ直す運用にしています。



写真4

○管理職優先席

L字型の管理職優先席です(写真5)。通常席と同様にキャビネットなどがなく、足下は広々しており、また、側部にも机があるため相談などがその場でできます。元々は2席で運用していましたが、共通レイアウトでは管理職席がなくなることを見据えて、2022年7月から、管理職優先席を1席とし、



写真5



写真7

もう1席は自由席にして運用しています。

○電動昇降協議机

天板を昇降できる長机です(写真6)。片方は常に天板を高い位置として、椅子は用意していません。逆にもう片方は座位でも使えるように、天板を低くし、椅子を用意しています。使用頻度は同じくらいで、対面協議の際は立位で、オンライン会議などPCを使う際は座位で使う方が多い印象です。



写真6



写真8

つ導入しました。書籍用収納はガラス戸となっており、一覧性に優れています(写真8)。

〈一日の流れ〉

(登庁時)

登庁すると、まずは座席表に自分の名前が書かれたマグネットを貼ります(写真9)。指導審査官・審査官補は、先に来た方が2人分の席を確保可能とし、近くに座りやすい運用にしています。この座席表は、スキャンしてポータルサイトに掲載し、在席状況の把握などに利用しています。

次に、鍵付き個人ロッカーからモバイルバッグを座席まで持って行き、仕事が始まります。モバイルバッグには、文房具、分類表など使用頻度の高い物を入れています(写真10)。こちらは非常に便利で、フリーアドレスには欠かせないアイテムではないでしょうか。

さらに、PCや座席の高さなど、好みに合わせて

○簡易衝立

フリーアドレス導入前に行ったアンケートで要望があり、写真7のような簡易衝立を2つ導入しました。主に集中席のかわりとして利用されています。

○収納

不要な資料・書籍はできるだけ捨てるようにしましたが、それでも書籍や包装袋を保管するスペースが追加で必要になったため、収納を新規購入などで8

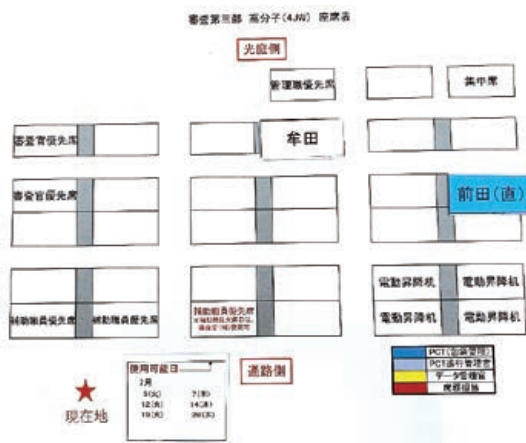


写真9

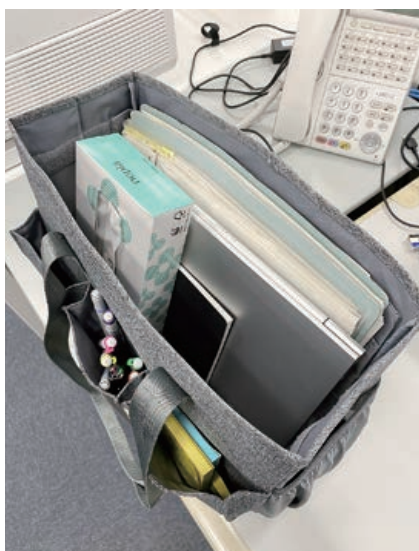


写真10

業務環境を整えます。初めて座る席の場合、PCの設定も必要になります。

(仕事中)

包袋が手元に無いため、着手する案件の包袋は、保管しているロッカーに取りに行く必要があります。また、審査基準などの大型の資料もロッカーで保管しているため、必要に応じ、取りに行く必要があります。

(退庁時)

除菌シートで机上やキーボードなどの机周りを清掃し、朝に貼り付けたマグネットをはずして退庁です。

基本的に、机周りに荷物は残さないこととしており、包袋やモバイルバッグは鍵付き個人ロッカーに片付けています。ただし、後述のように、先行技術

調査を同一PCで連日行いたい場合は、荷物がある程度まとめた上で残置できることとしています。

導入当初は、業務系PCのログインカードやUSBの置き忘れが散見されましたが、皆さん慣れてきたのか最近は見られません。

〈フリーアドレスにして良かったこと〉

フリーアドレス移行から1ヶ月後に、室内アンケートをとりました。

その結果、部屋がすっきりした・座席間が広がったという声が多く寄せられました。OA脇机やキャビネットの撤去により、各席の間が広くなり、動線が増えたため、最短距離でロッカーや決裁棚まで辿り着けるようになったことを利点とする方が多かったです。

また、新規導入の電動昇降席・集中席・モバイルバッグについて、良かったという声がありました。実際、これらの備品は使用頻度が比較的高く、満足している方が多いようです。

さらに、導入時に庶務担当だった筆者からすると、異動の時期に提出が必要な座席表などの書類の作成負担が減ったことも利点として感じられました。

一方、アンケートをとって見て意外だったのは、好きな席を選べる、席を変えることで気分転換できる点を利点として挙げた方が若干名にとどまった点です。現状では、決まっていたいくつかの席に座る審査官がやや多いようです。

〈課題とそれに対する対応〉

フリーアドレスを導入して9ヶ月ほどが過ぎました。これまでの実践やアンケートを通じて浮かび上がった課題もあります。

課題とそれに対する対応をいくつかご紹介します。

○準備段階

反省材料でもありますが、当室では、フリーアドレスの担当が決まり実際に動き出したのが3月末であったため、レイアウトや購入物品の提出締切(5月上旬)まで時間がなく、その中で、審査官の要望を最大限汲みつつ案を作成するのに苦労しました。

その一方で、実際のフリーアドレス移行(10月)

は、早目の行動によりスムーズに進みました。アンケートでは収納や物流に関する懸念、意見が多く寄せられていたため、包袋などの収納に関する情報を早めにアナウンスしたり、包袋提出ロッカーを5月から稼働させたりすることで、収納・物流を混乱させないように努めました。

○検索履歴の引き継ぎ

現在のクラスタ検索システムでは、検索履歴のセーブ&ロード機能が同一PC内でのみ有効となっています。そのため、前日と違う席に座った場合、この機能が使えません。1つ1つの論理式を手動で引き継ぐことはできますが、手間がかかってしまいます。

この点は、アンケートでも要望として挙げられたため、先行技術調査がその日中に終わらず、検索履歴を持ち越したい場合には、次の日に同じ席を使う予約ができる運用にしています。

○在席状況の把握

審査官の在籍状況をすぐに把握することができず、また、在宅勤務者も一定数いることから、電話の取り次ぎの際には、まず対象の方が登庁しているのか、登庁していればどこの席に座っているのか、調べる必要があります。その方が電話を置いていない集中席に座っていた場合はまた別の対応をしなければいけません。

現在は、当室の占有スペース(フロアの四分の一)の範囲内なので大きな支障は生じていませんが、フロア単位やそれ以上でのフリーアドレスとなると、どのように運用していくのか、工夫する必要が出てくるかもしれません。

○座席の予約

新型コロナウイルスの流行以降、時差出勤が定着し、審査官間で始業時間のばらつきが大きくなっています。当室では、出勤時に座席を取る運用にしていますが、座席の確保機会を均等にするため、座席を予約できるようにしてはどうか、という議論もありました。

結局、電動昇降席なども含めて、座席数には若干の余裕があることもあり、予約制の導入は見送りでしたが、予約できるようにしている審査室もあると

聞いており、今後の状況の変化も踏まえて検討していく必要があるかもしれません。

○衛生面

衛生面を気にする声も一定数聞かれました。終業時に除菌シートで清掃することにはしていますが、始業時にも清掃する方や、自前のキーボードやマウスを使うなど、各々工夫されているようです。

〈最後に〉

準備段階では、筆者もフリーアドレス化後の業務をいまいちイメージできませんでした。部屋の皆さんはそれ以上にイメージできない状況だったのではないかと想像します。そのような中でも、スムーズにフリーアドレスに移行し、円滑に業務を進められているのは、柔軟に、前向きに対応してくださった部屋の皆さんのご協力のおかげであり、感謝しています。

今後、審査官としての業務が円滑に進められることを第一としつつ、働き方改革の流れに取り残されないように、運用の改善に取り組んでいくつもりです。

当室のご紹介がフリーアドレスでの業務をイメージする一助になれば幸いです。

Profile

牟田 博一 (むた ひろかず)

平成15年4月 入庁(審査第三部無機化学)
総務部国際課併任、有機化学、化学応用、審判部第21部門を経て、
令和2年4月より現職

Profile

前田 直樹 (まえだ なおき)

平成31年4月 入庁(審査第三部高分子)